

教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。

エペソ人への手紙一章二三節

2016(28)年 週 報

3月20日

「イエスの十字架」

第3聖日

第3447号

聖
言

そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。1ペテロ2：24

十字架の上から語られた七つの代表的なおことば
十字架上の第一のことば
「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」(ルカ二三ノ三四)
十字架上の第二のことば
「あなたはききよう、わたしとともにパラダイスにいます。」(ルカ二三ノ四三)
十字架上の第三のことば
「母に『女の方。そこに、あなたの息子がいます。』と言われた。それからその弟子に『そこに、あなたの母がいます。』と言われた。」(ヨハネ一九ノ二六、二七)
十字架上の第四のことば
「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか。」(マタイ二七ノ四六)
十字架上の第五のことば
「わたしは、かわく。」(ヨハネ一九ノ二八)
十字架上の第六のことば
「完了した。」(ヨハネ一九ノ三〇)
十字架上の第七のことば
「父よ、わが霊を御手にゆだねます。」(ルカ二三ノ四六)
十字架は第二ノアの大洪水の人類の裁きであり、第二の天地創造であります。十字架は全宇宙の中心で輝いているのです。ゆえに十字架を度外視した平和も愛も生命もすべては瓦解します。十字架を経ずして教会と全宇宙の復活は考えられません。

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一六年三月十三日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「イエスの裁判」

「キリストは罪を犯したことがなく、その口に何の偽りもみいだされませんでした。ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことをせず、正しく裁かれる方にお任せになりました。」（1ペテロ二ノ二二、二三）

幼児を暴行殺害した凶容疑者に死刑を言いわたされました。彼の裁判は一年にわたりました。しかし、イエス様は罪を一つも犯さないのに捕まってすぐに夜中のうちに裁判にかけられ、明け方にピラトのもとに連れて行かれて、死刑判決をされました。それも、ダニエル書の預言「人の子が力ある神の右につき、天の雲に乗ってくる。」といったからです。いかに不当な判決であるかがわかります。

昨日ホスピス病棟に行きました。そこのかべにこのような文章がはっていました。

①あなたの人生において特にあなたが一番憶えていること、最も大切だと考えていることはどんなことか。あなたが、一番生き生きとしていたと思うのはいつ頃か。

②あなた自身について家族に知ってほしいこととか、家族に憶えてほしいこととか、何か特別なこと。

③家族との役割、仕事上の役割、そして、地域での役割）あなたが人生において果たした役割のうち最も大切なものは何でしょう。

余命いくばくもない患者が最後に言い残すことを書くのです。まさしくイエス様は病気ではないのですが、ご自分が死刑になることを知っておられました。そのとき、最後にいうべきことを話されました。大祭司には天の雲にのって帰ることを言い、

死刑を執行するローマ総督ピラトにはユダヤの王であることを語りました。王とはダビデ王です。神様はこの方を立てていつまでもつづく、王国をつくられるのです。そのために、十字架で、人類の罪を負って死んでくださいました。主イエス様はこの苦しみを負われて十字架のお苦しみをお受けになってくださいました。そのことにより、人間に救いの道を開いてくださいました。

〇一六年三月一六日午後七時 祈祷会 山本牧師

「獅子の穴に投げ込まれたダニエル②」（ダニエル連第一一回）

「ダニエルは、その文書の署名がされたことを知って自分の家に帰った。彼の屋上の部屋の窓はエルサレムに向かってあいていた。彼は、いつものように、日に三度、ひざまずき、彼の神の前に祈り、感謝していた。」（ダニエル六ノ一〇）

これはまさしく、福音である。ダニエルは祈りの人である。祈りは呼吸である。そのためにダニエルは大臣たちに憎まれた。バビロンのために働いているダニエルを殺すことしか考えていなかった。それで、ダニエルが悪を行わないことを知っているのだ。ダニエルを罪に陥れるために新たな法律を作った。一月間、王以外を拝むことを禁止した。王の権力を高めるなら一月でなく、永続させるほうが良い。祈りの人ダニエルが神に祈るのを見越してこのような法律を作る。悪魔は神様が働くのを好まない。ダニエルは敵の策略を知っていたが、隠れて神に祈る姑息な手段はとらなかった。ダニエルは神に祈ることは、形式でなく、現実であり、呼吸である。なぜなら、彼は祈らねば窒息死してしまうので、祈ったのである。

受難週の黙想

今週は受難週。受難とは人間が被害を蒙ったのでなく、神の御イエス・キリストが大きな苦しみと損失を蒙ったのです。災害で屋根がわらが飛ばされた。津波で家がさらわれることも損失です。しかし、この世界のありとあらゆるものをお造りになられた、おかたがご自分のたった一人の掛け替えのない、御子を奪われたのです。子ども奪われた親の気持ち。それも何の落ち度もない最高の子どもが、むごたらしい殺され方をしたとするなら、親は気が狂わんばかりに悲しむでしょう。そして、子供を殺した加害者にたいして報復をするでしょう。それをせず、何の痛みも感じないとしたら、親でもなく、また哀れな親の資格もありません。子供をあいつているなら、しかも、子どものことを考えるなら徹底的に戦うのが本当の親です。御子イエス・キリストの御父なる神様は、御子を十字架につけたものを、十二軍団の天の使いにより、瞬時に滅ぼしなさいませんでした。神様は創造の初めより遠大なご計画をもっておられました。神様は緻密であり、愛であり、聖であられます。激情に惑わされる人間と違って、冷静なお方です。その計画書をお造りになられておられます。それが聖書です。御子を十字架につけた宗家の嫉みの背後に創造主を、捨てて、自己を神とする、また他の神々を神とする。神を神と認めず、神の子、メシヤを裸にして十字架につけた、神様はこのような人間の心の中をどのような思いで見ておられたのでしょうか。アメリカは戦争のおかげで、経済が成り立っているという人々もいます。それは事実か事実でないかにかかわらず、私たちの心は、怒り、復讐、征服意識、これらが外に出る時に争いが起きるのです。殺し合いになるのです。義なる神様は御子を十字架につけることにより、人間のこうした罪を処罰されたのです。神学的にはキリスト

の死は偶発説、殉教説、道徳感化説、統治説、報復説とありますが、私のような汚れた、墮落したものはなにによつてまともになることができましよう。このような恐ろしい者さえ見捨てず、十字架に死んで下さった死です。そればかりでなく、私の心から神に敵対する心を除き、聖霊を注ぎ、御子の心を与えてくださるので、こうした、御父のご計画を知り、十字架のお苦しみを偲び、それとともに自分の十字架を担いつつ、受難週を過ごしましょう。

イースター克己献金実施中

お祈りと御協力をおねがいます。

牧師・役員一同